

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



この地域で、つながる

つながるよろこびを胸に

今年度、30回目を迎えた谷戸まつり。実行委員として、20年以上にわたって運営に携わってきた野島のぶ子さん（87歳）にお話を伺いました。

▼公民館との出会いを教えてください。

私には子どもが二人いますが、上の子の小学校入学から下の子の中学校卒業までの11年間、PTA活動にかかりました。そこで谷戸まつりの創設メンバーのお一人と知り合い、その方を通じて公民館のことを初歩から学びました。

PTAを卒業した後も、一緒に活動した方たちのお付き合いは続いています。役員経験者で「ボランティアサークルやまびこ」を作って、月一回バザーを行って寄付をするという活動をしたのです。サークルから派遣されて、20年以上「田無市社

▼谷戸まつり実行委員会への参加はいつからですか？

会福祉協議会だより」の編集委員（ボランティア）もしました。サークルは、会員の高齢化に伴い、今では「老人会やまびこ」に変わっています。

谷戸公民館で定期的に活動するようになったのは、自彊術のサークルを作ってからです。当初は、公民館の部屋が空いていなかったのですが、発足後2〜3年経ってから活動場所を公民館に移しました。平成10年頃のことだったと思います。

▼20年間谷戸まつりにかかわってきた感じる変化はありますか？

以前は会場として公民館を借りても、運営は実行委員会主体で行っていました。最近、実行委員会に参加する方も減り、公民館が深くかわるようになりましたね。

ペットボトルでロケットを作って飛ばしたり、凧や竹とんぼを作ったり、昔は子ども中心のイベントでしたが、現在はあらゆる世代が対象になっていきます。でも、地域のお祭りが少なくなってきた中、子どもたちが楽しみにしているおまつりであることは変わらないと思います。

▼生き生きと活動している感じがしますね。

私が元気な理由の一つは、20年以上続けている自彊術です。それから、サークル活動や公民館まつりの運営への参加などの社会参加。みんなと一緒に活動することが老化防止になっていると思います。新しい人との出会いは緊張しますが、だからこそいいと思うのです。人と話をすると視野が広がりますし、自分が活性化されますよね。衰えは感じます。だからどうするかが大切だと思います。

今が楽しくないと、未来も楽しくない。過去が楽しかったといくら言っても過去は過去。今が大事、未来が大事。若い時からそう思って生きてきました。大変なことでもやっているうちに、おもしろさが生まれてきます。自分がしたことでだれかが喜んでくれるということは、その人以上に自分自身が嬉しいこと。「なぜ、みんなのために私が大変な思いをしなければならぬの」と思う方もいるかもしれませんが、みんなのためには自分が苦勞することは、私にとっては楽しいことなのです。

恒例の催しに子ども対象のものづくり教室があります。今は革細工ですが、初めての時は、布で箸袋を作りました。実行委員会でも「子どもに針を持たせるのは危険ではないか」という意見が出たのですが、痛い体験をしながら学ぶことも大切と

いう意見もあり、取り組みました。時間内で完成しないお子さんもいて、自分で仕上げたいという希望をかなえるために、後日、自宅に来てもらったこともありです。

30年も続くおまつりですから親子二代にわたって実行委員会に参加する家族もいます。

写真で見ると、いまむかし

市民まつり

第1回田無市民まつりは、昭和52（1977）年3月19日から23日までの5日間にわたって、市内7会場で、市制施行10周年記念事業として開催されました。3月20日には、田無駅北側の農協前通りを歩行者天国にして、利き酒コンクールや田無ばやしの実演、フォークダンスなどが行われました。



第1回田無市民まつり（旧田無市）
昭和52年撮影
西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵

第1回保谷市民まつりは、昭和54（1979）年11月3日（文化の日）に、旧保谷市役所（現保谷庁舎）前広場で開催されました。「心のふれあう、生きがいのまち、楽しいまち」をテーマに、パレード（保谷小学校前出発）をはじめ、保谷ばやしや民謡、民踊等の舞台、子どもを対象とした工作コーナーや相撲など、さまざまな催しが行われ、延べ2万人の人出がありました。



第1回保谷市民まつり（旧保谷市）
昭和54年撮影
西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵



第18回西東京市民まつり
平成30年11月11日 西東京いこいの森公園
撮影：水口トミオ（保谷町在住）